

「第2次戸田市多文化共生推進計画（案）」についてのご意見に対する回答

* 貴重なご意見ありがとうございました *

案 件 名 第2次戸田市多文化共生推進計画（案）について
意見募集期間 令和4年12月5日（月）から令和5年1月4日（水）まで

パブリック・コメントとしてご意見を募集した結果、2名の方から3件のご意見をいただきました。いただいたご意見の内容と、それに対する市の考え方を次のとおり公表いたします。

【ご意見の概要とご意見に対する市の考え方】

	ご意見の内容	市からの回答（対応）
1	避難所の疑似体験をしておくことで、災害時に備えておくべきものが分かるため、地震や洪水などを想定した避難所体験を外国人市民も一緒に行うことを提案します。	現在は、公益財団法人戸田市国際交流協会において外国人防災訓練を実施しています。 いただいたご意見を参考に、今後の訓練の内容を検討していくとともに、積極的に参加していただけるよう、周知を工夫してまいります。
2	外国人市民は日本の生活習慣を理解する機会が圧倒的に不足しています。そのような機会を確保するため、「P42 基本目標3 安心して生活できるサポートの充実」の事業として、外国人市民の転入時に日本の生活習慣を伝える「外国人情報窓口」のような専門窓口設置の追加を提案します。	当市においては、令和2年度から「戸田市外国人市民相談窓口」を設置し、市役所の手続き支援や生活相談を行っております。 また、戸田市国際交流協会においても同様の生活相談を行っております。 これらの窓口がご提案いただいた「外国人情報窓口」の役割を担う機関として、引き続き窓口の周知・啓発に努めるとともに、サポートを

		実施してまいります。
3	<p>外国人市民は、多様な背景を持つため、地域の現状に根差した対応策を実施する第三者が必要です。</p> <p>これらの業務は、日頃から地域の市民と関係を築ける場所で働く、「公民館」の職員が適任です。</p> <p>「公民館」の職員を、双方の人間関係をつなぐコーディネーターとして活用することを、「P37 ③ 外国人市民の地域社会への参画」の具体的な事業として追加することを提案します。</p>	<p>当市の公民館を利用する外国人市民は限定的である状況です。いただいたご意見を参考に、本計画案に記載の「戸田市国際交流協会」や「町会・自治会」、「埼玉県多文化共生キーパーソン」等の関係団体（者）と連携し、多文化共生の施策を推進してまいります。</p>